

妊娠22週までの死産児を安置するためのひつぎ



わが子のひつぎ

PAT.P



「わが子のひつぎ」は、簡易な箱がひつぎとして代用されている現状を改善したいとの思いから、看護とデザインの協働により創られました。特長としては、繊細な赤ちゃんの体を良い状態に保てるよう、ひつぎの底部分に保冷剤を入れることができます。

最愛の赤ちゃんとお過ごす大切な時間。親子としてできることは沢山あると思います。だっこしたり、お話したり、名前をつけたり、一緒に写真をとったり…。このひつぎが最愛の赤ちゃんを、思いを入れてお送りする一助になることを願っています。



本体は、牛乳パックなどを再生した環境に優しい素材「ミルパック」を使用しています。

大(A4サイズ)	小(B5サイズ)
内寸(D288×W203×H103mm) (目安:妊娠18週~22週向け) (胎児身長 約20cm~28cm)	内寸(D248×W177×H90mm) (目安:妊娠12週~18週向け) (胎児身長 約10cm~20cm)
保冷剤(100g×4個+300g×4個)	保冷剤(100g×4個+500g×2個)
タオル(1枚) レース(1枚) リボン(ピンク・ブルー各1本) 使用説明書	
オープン価格	オープン価格

*タオル・レースなどの付属品は、告知無く仕様変更する場合があります。

企画・販売 【お問い合わせ】

第一資業株式会社

本社

〒067-0072 北海道江別市一番町7-4
TEL:011-382-4179 FAX:011-384-4652

開発協力

公立大学法人
札幌市立大学
SAPPORO CITY UNIVERSITY

www.scu.ac.jp

看護学部
デザイン学部

妊娠22週までの死産児を安置するためのひつぎ



わが子のひつぎ

使い方



上のフタをとって、赤ちゃんをいれてあげます。中敷きの上に脱脂綿かガーゼを敷き、その上に同封のレースを敷いて赤ちゃんを寝かせてあげてください。パパ、ママからのメッセージや、可愛いぬいぐるみを入れてあげても良いですね。



側面の白いテープを引くと、保冷剤をいれる底部を開くことができます。



この底部のトレイを引き出して、保冷剤を入れておくことで、通常の室内であれば、赤ちゃんの体にとって一番よい温度を12時間、保持することができます。



お別れの時には、同封のリボンで飾ってあげてください。このひつぎに、ご家族で模様や楽しい絵を書いてあげても良いですね。

企画・販売 【お問い合わせ】

第一資業株式会社

本社

〒067-0072 北海道江別市一番町7-4

TEL: 011-382-4179 FAX: 011-384-4652

開発協力

公立大学法人

札幌市立大学
SAPPORO CITY UNIVERSITY

看護学部

デザイン学部

ご利用になられた感想などを宜しければお寄せください。
より良い親子関係の為のひつぎ開発に役立てさせて頂きたいと思っております。
現 北海道文教大学 人間科学部看護学科 多賀昌江 (taga@do-bunkyo.ac.jp)